

東京都中央卸売市場における 1 2 月の主要な愛知産青果物の動向

1 1 2 月の見通し

品目名 ミニトマト

区分 実績等		入荷量 (t)	卸売価格 (円/kg)	前年上位3産地(%)		市場からの提言等
実績	2020年	1,949	453	熊本	43%	愛知産は市場評価が高いので、翌週に加えて2～3週間先の出荷情報の提供、レギュラー品だけに偏らないオリジナリティのある商品（高糖度、カラー、プラム型など）の出荷維持、良食味や着色の良い外観など高い品質の維持に努めてほしい。
	2021年	1,862	627	愛知	18%	
	2022年	2,148	554	千葉	12%	
	2023年	2,019	569			
	2024年	1,378	927			
5ヵ年平均		1,871	626			
2025年見通し		1,900	600			
愛知産の動き						産地概況
<div>数量(t) 単価(円/Kg)</div> <div>1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12月</div> <div>■ 前年数量 ■ 数量 - - - 前年単価 ● 単価</div>						本県は、高温の影響を受けたものの、生育は順調に推移しており、平年並の安定した入荷が見込まれる。 競合産地について、熊本は、栽培面積の減少と8月の豪雨の影響により、例年より少なかった前年並の入荷が見込まれる。 千葉は、生育に大きな問題はなく、平年並の安定した入荷が見込まれる。
競合産地の動き（熊本）						競合産地の動き（千葉）
<div>数量(t) 単価(円/Kg)</div> <div>1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12月</div> <div>■ 前年数量 ■ 数量 - - - 前年単価 ● 単価</div>						<div>数量(t) 単価(円/Kg)</div> <div>1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12月</div> <div>■ 前年数量 ■ 数量 - - - 前年単価 ● 単価</div>

品目名 ブロッコリー

区分 実績等		入荷量	卸売価格	前年上位3産地(%)		市場からの提言等
実績	2020年	3,658	267	香川	20%	再生産価格を維持するため、経済連・J A・市場が一体となり、直送販売・契約販売や1～2週間先を見据え、事前相対販売への取組みを長期・計画的に行い、日々の販売に左右されない安定販売を目指す必要がある。 また、今後も安定的な出荷に努めていただきたい。
	2021年	3,346	328	愛知	16%	
	2022年	3,723	298	熊本	16%	
	2023年	3,911	334			
	2024年	2,656	621			
	5ヵ年平均	3,459	370			
2025年見通し		3,300	380			

愛知産の動き	産地概況
<p>数量(t) 単価(円/Kg)</p> <p>1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12月</p> <p>前年数量 数量 --- 前年単価 — 単価</p>	<p>本県は、高温対策で定植を遅らせたため、生育ペースは昨年より遅くなっている。生育は順調に推移しており、影響は軽微で、平年並の入荷が見込まれる。</p> <p>競合産地について、香川は、黒すす病や花蕾腐敗病が一部は場で発生しているものの、適期防除による品質確保に努めており、大きな問題はなく、平年並の入荷が見込まれる。</p> <p>熊本は、11月中旬が年内の入荷ピークとなるため、12月中旬以降は入荷が少なくなると見込まれる。</p>

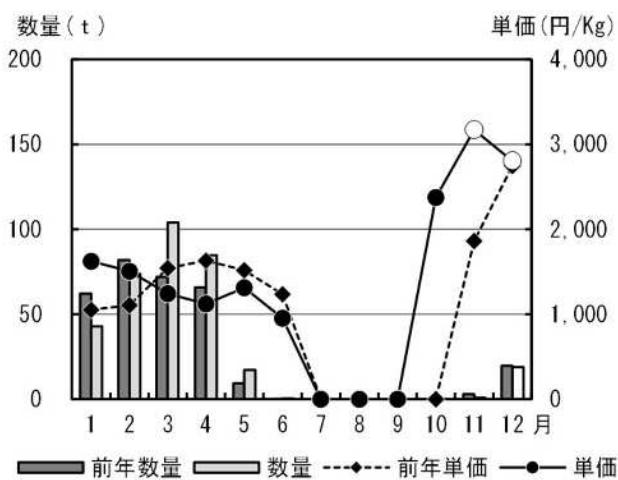
  

競合産地の動き (香川)	競合産地の動き (熊本)
<p>数量(t) 単価(円/Kg)</p> <p>1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12月</p> <p>前年数量 数量 --- 前年単価 — 単価</p>	<p>数量(t) 単価(円/Kg)</p> <p>1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12月</p> <p>前年数量 数量 --- 前年単価 — 単価</p>

品目名 さやえんどう

区分 実績等		入荷量	卸売価格	前年上位3産地(%)		市場からの提言等
実績	2020年	245	1,053	鹿児島	51%	きぬさやえんどうは、愛知産の「紅姫」は品質面の信頼が高くブランドとなっているので、作付面積の維持・拡大をお願いしたい。 スナップえんどうは、前年から新規格としてガク無しを導入し、A品と同等の相場が形成され、販売が安定した。今年も新規格を推進していきたい。
	2021年	184	1,377	愛知	14%	
	2022年	182	1,509	熊本	10%	
	2023年	200	1,274			
	2024年	140	2,055			
5ヵ年平均		190	1,454			
2025年見通し		135	2,100			

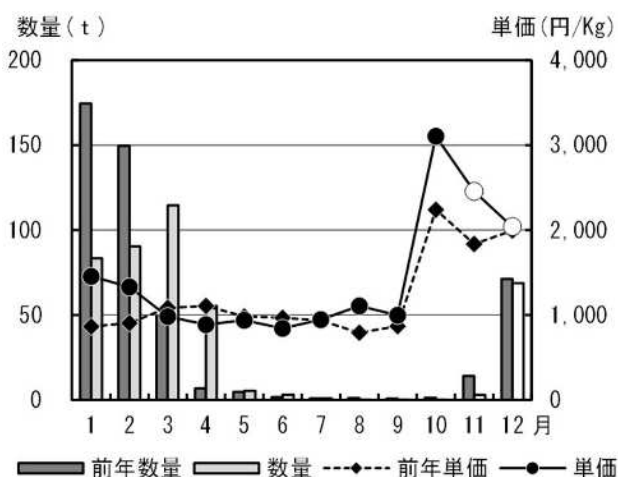
愛知産の動き



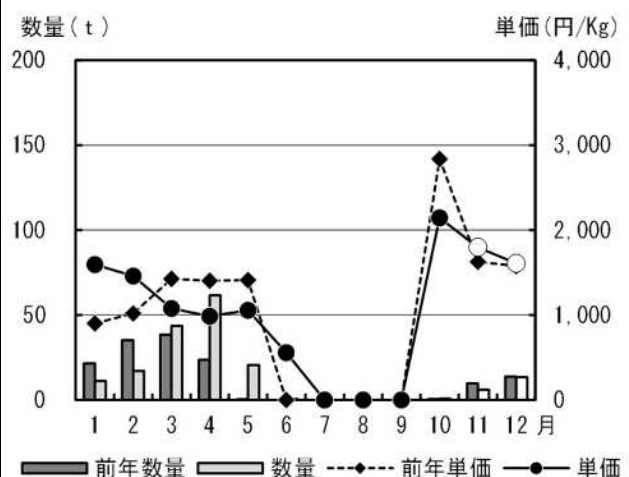
産地概況

本県は、高温の影響で播種が遅れたため、生育ペースは昨年より遅くなっており、年内の入荷は少ないと見込まれる。生育は順調に推移しており、年明けに多くなる見込み。  
 競合産地について、鹿児島は、定植期の高温により生育障害がみられる。生育は徐々に回復すると見込まれ、微減～前年並の入荷となる見込み。  
 熊本は、気温が高いため生育が遅く、入荷は中旬頃から安定してくるが、総量は前年より少なくなると見込まれる。

競合産地の動き（鹿児島）



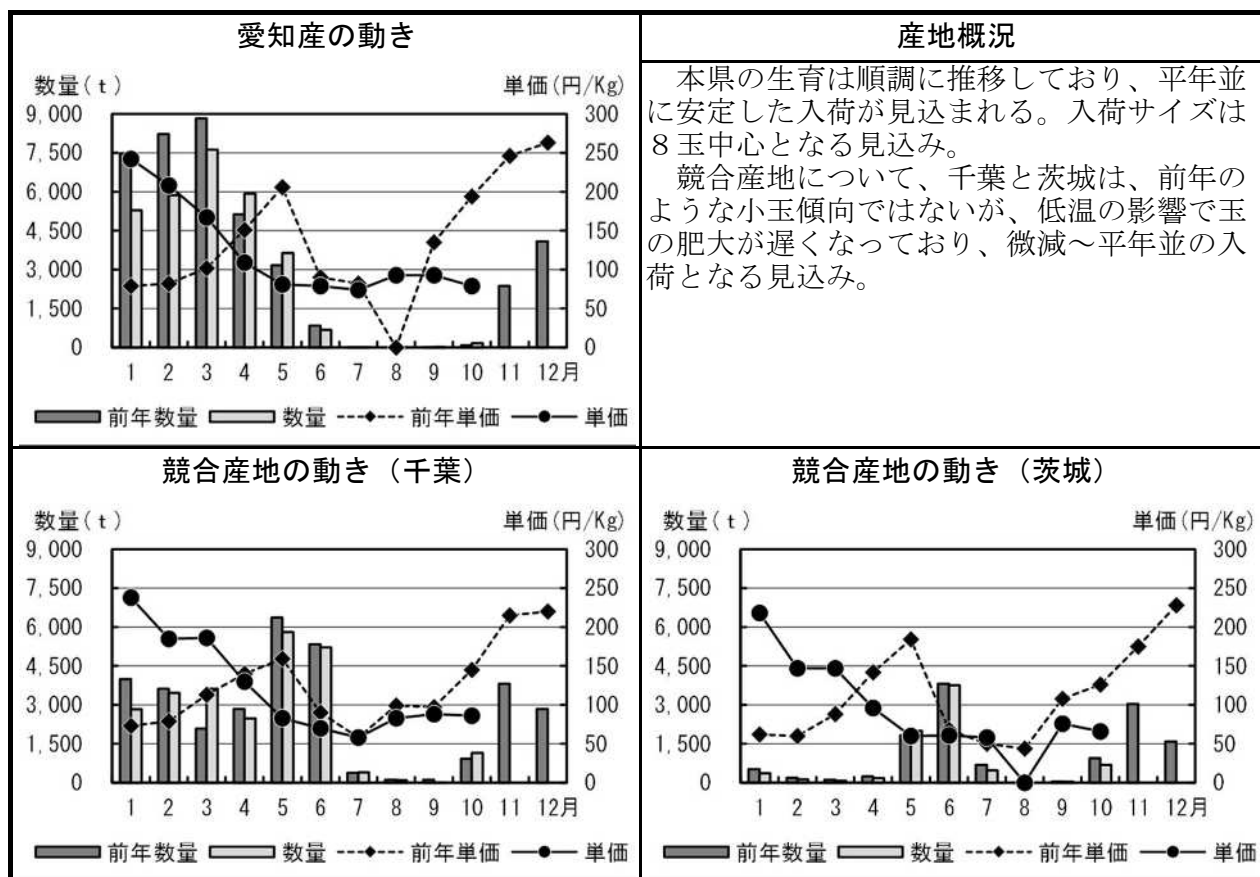
競合産地の動き（熊本）



## 2 入荷量・価格の動き

品目名 キャベツ

前年上位3産地(%) 愛知 41% 千葉 28% 茨城 16%



品目名 トマト

前年上位3産地(%) 熊本 35% 栃木 23% 愛知 17%

